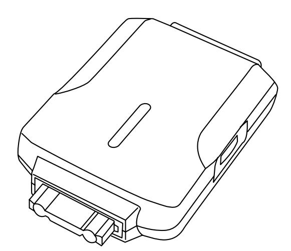
I·O DATA

PDI-B902/MAH 取扱説明書

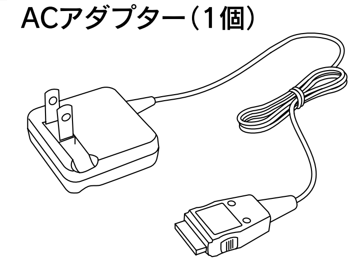
B-MANU152609-01

内容物を確認しよう

☐ ワイヤレスアダプター（1台）



☐ ワイヤレスアダプター専用ACアダプター（1個）

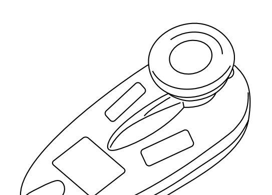


☐ 無線注意ラベル（2枚）

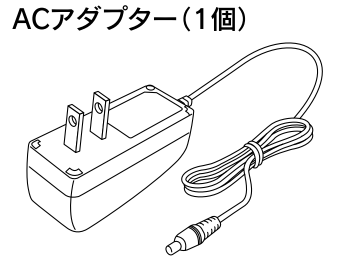
☑ 取扱説明書（本書：1枚）

☐ 保証書（2枚）

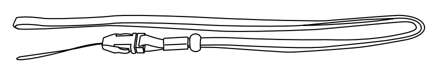
☐ ワイヤレスヘッドセット（1台）



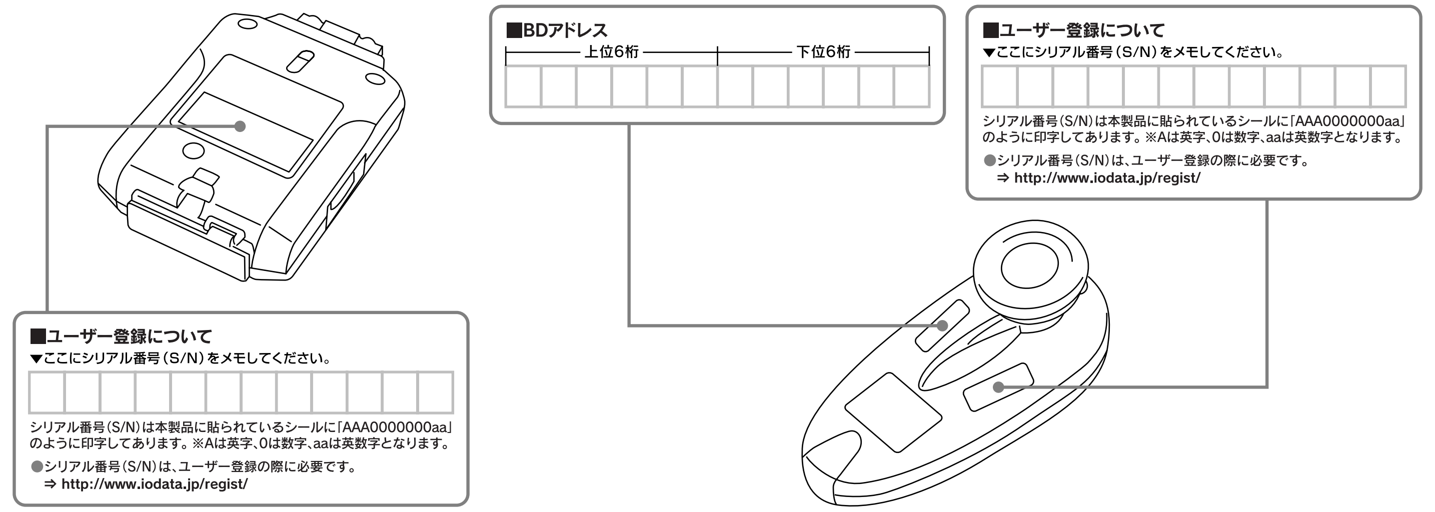
☐ ワイヤレスヘッドセット専用ACアダプター（1個）



☐ ネックストラップ



シリアル番号、BDアドレスをメモしよう



■BDアドレス

上位6桁 ｜ 下位6桁

■ユーザー登録について

▼ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

シリアル番号（S/N）は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。※Aは英字、0は数字、aaは英数字となります。

●シリアル番号（S/N）は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒ http://www.iodata.jp/regist/

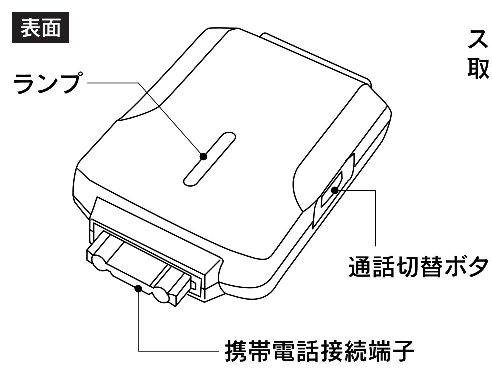
■ユーザー登録について

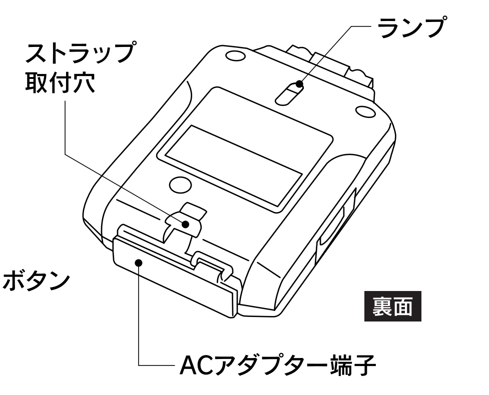
▼ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

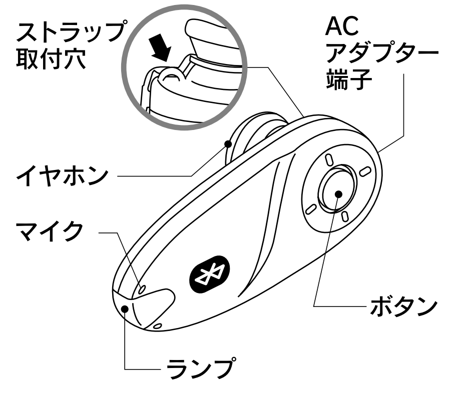
シリアル番号（S/N）は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。※Aは英字、0は数字、aaは英数字となります。

●シリアル番号（S/N）は、ユーザー登録の際に必要です。
⇒ http://www.iodata.jp/regist/

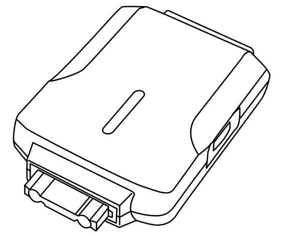
各部の名称







ランプについて

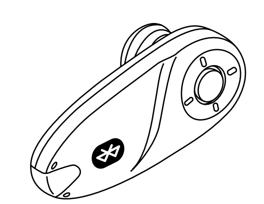


■携帯電話接続中
- ●消灯……………………未接続
- ●緑色点灯……………接続中
- ●赤色点滅……………充電必要

■専用充電ACアダプターでの充電中
- ●赤色点灯……………充電中
- ●消灯……………………充電完了

■Bluetooth機器情報記憶中
- ●赤色点滅……………実行中
- ●緑色点灯……………登録成功
- ●赤色点灯……………登録失敗

■ペアリング中
- ●赤色・緑色 交互点滅 …実行中
- ●緑色点灯………………ペアリング成功
- ●赤色点灯………………ペアリング失敗



■電源投入時
- ●5秒間の点灯…………電池残量十分
- ●5秒間に5回点 ………充電必要

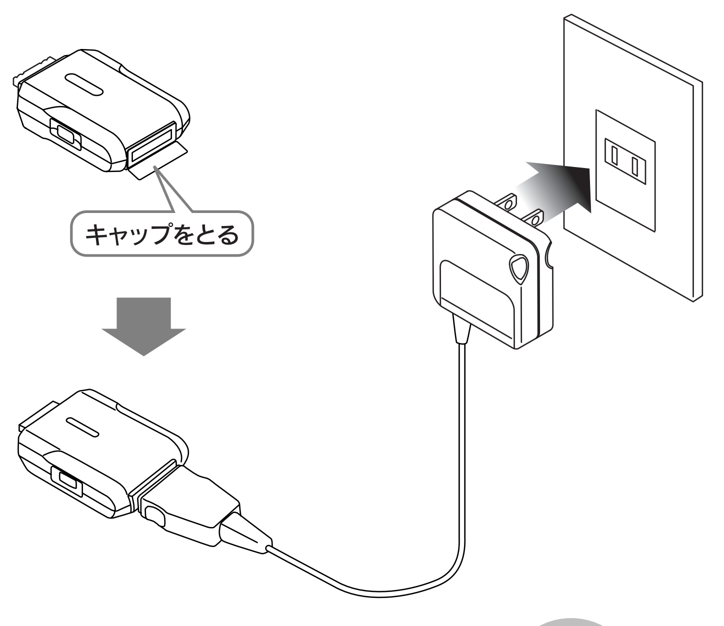
■通常時
- ●5秒おきに1回点滅………未接続
- ●5秒おきに3回点滅………待受状態
- ●5秒おきに4回点滅………通話中
- ●点　滅……………………ペアリング中

■専用充電ACアダプターで充電中

※操作を行った場合、通常時の表示になります。
- ●点　灯……………………充電中
- ●5秒おきに1回点滅………充電完了

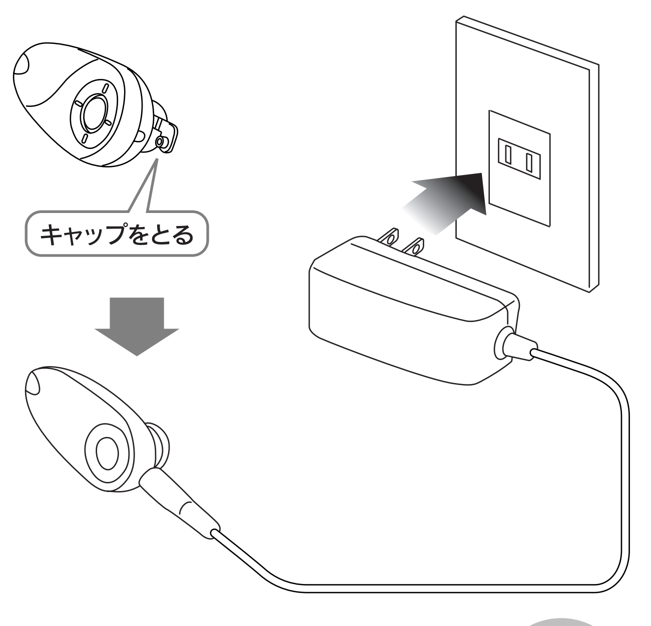
1.充電する

※ワイヤレスアダプター・ワイヤレスヘッドセット共に、初めてご使用になる前には必ず充電を行ってください。



※充電の際は、電話機は接続しないでください。
※充電後は、キャップをはめてください。

満充電
2時間



※初めての充電は5時間行ってください。
※充電後は、キャップをはめてください。

満充電
3時間

2.ヘッドセットの電源を入れる・切る

❶ 電源を入れる

ヘッドセットのスイッチを約3秒間押すと、ピッピッピッとブザーが3回鳴って電源が入ります。
電源が入った状態では一定時間ごとにランプが点滅します。
ACアダプタを接続し充電を行う時にも電源は自動的に入ります。
※初めてご使用になる前には必ず充電を行ってください。

❷ 電源を切る

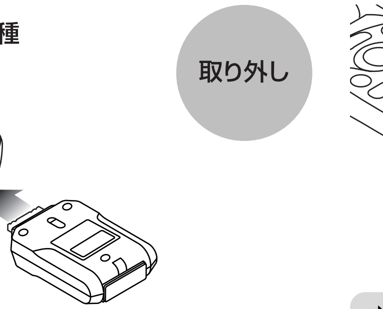
ヘッドセットのスイッチを約3秒間押し、ピーッとブザーが長く鳴って電源が切れます。
※1度で電源が切れない場合、何度かお試しください。

3.ワイヤレスアダプターの接続と取り外し

接　続

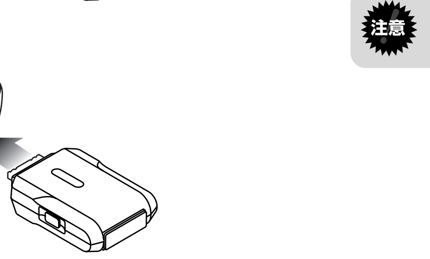
■Type I:Bluetoothロゴを裏向きに取り付ける機種

N251i、N251iS、N252i、N504i、N504iS、
N505i、N505iS、N506i
F251i、F504i、F504iS、F505i、F505iGPS、
F506i、F661i、F671i、F671iS、F672i
D251i、D251iS、D252i、D504i、D505i、
D505iS、D506i
SH252i、SH505i、SH505iS、SH506iC、
SO504i、SO505i、SO505iS、SO506iC



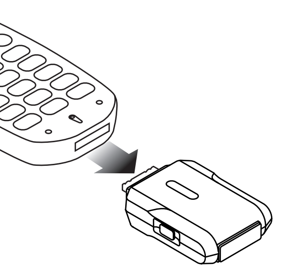
■Type II:Bluetoothロゴを表向きに取り付ける機種

P251iS、P252i、P252iS、P504i、P504iS、
P505i、P505iS、P506iC、premini



注意
●携帯電話は電源ONのまま接続します。
●コネクタの向きに注意してください。
向きが違ったまま無理に差し込むと故障の原因になります。

取り外し



注意
そのまま
水平に抜いてください。

4.使い方

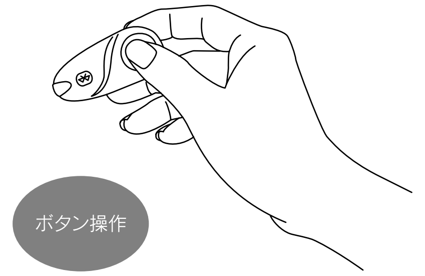
● ワイヤレスアダプターとワイヤレスヘッドセット（以下ヘッドセット）との接続

本製品を使用するためにはワイヤレスアダプターとヘッドセットが接続状態になっている必要があります。
以下の手順で接続を確定させます。

1.ヘッドセットの電源を入れます。
2.ワイヤレスアダプターを携帯電話に接続します。
3.ヘッドセットのランプが5秒に1回の点滅になるまで待ちます。
4.ヘッドセットのボタンを1回押します。
5.ワイヤレスアダプターのLEDが緑に点灯すれば接続が確定します。

❶ 電話をする

①通常の携帯電話と同様に電話をかけます。
②通話状態でヘッドセットのボタンを1回押し、ヘッドセットに通話を切り替えます。



❷ 電話を受ける

携帯電話に着信すると、ヘッドセットのイヤホンから着信音が聞こえますので、
ボタンを短く1回押すと電話を取ることができます。

❸ 終話

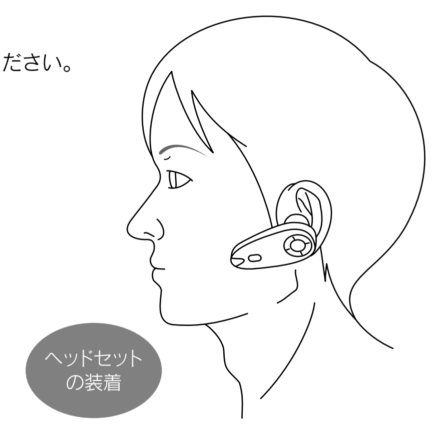
通話時に、ボタンを3秒間押し続けると通話を終了することができます。

❹ ボリュームの変更

通話時に、ボタンを1回押すごとに右のように変化します。　↳ 小 → 中 → 大 ↲
ボタンを押すごとに一段階変化します。続けて操作する場合は、1秒ほど間隔をあけてから操作を行ってください。

❺ 通話の転送

ヘッドセットで通話時に、ボタンを素早く3回押すと携帯電話本体での通話に切り替わります。
この状態でもう一度ボタンを1回押すと再びヘッドセットでの通話に切り替わります。



❻ 着信拒否

着信時に、ボタンを3秒間押すと着信を拒否します。

❼ バッテリー低下の警告

バッテリーの残量が少なくなると、イヤホンからは40秒おきに警告音（ドゥルドゥルドゥ）が聞こえます。
警告が始まって10分で電源が自動的にOFFになります。

ワイヤレスアダプターとヘッドセットの関連付け（ペアリング） ●必要に応じて設定してください。

参考

通常は工場出荷時に登録されています。
何らかの原因で消えてしまった場合に、再度登録を行う時の設定方法です。

ワイヤレスアダプターへのワイヤレスヘッドセット情報の記憶

ワイヤレスアダプターへのワイヤレスヘッドセット情報の登録には携帯電話の電話帳「0」を使用して行います。
既に「0」番が使用されている場合には、別の番号に退避後設定を行ってください。
※携帯電話の操作方法については、お持ちの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

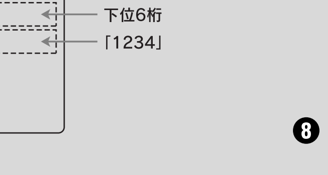
❶ 携帯電話の電源を入れます。

❷ 携帯電話の暗証番号を一時的に「9999」にします。

❸ 携帯電話に電話帳のメモリ0番の内容を確認します。

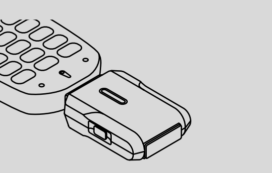
※一部の携帯電話ではメモリ0番がないものがあります。
この場合、「短縮0番」をご利用ください。

❹ ヘッドセットのBDアドレスの上位6桁を「名前」、下位6桁を「ヨミガナ」に半角文字で入力し、電話番号に1234を入力します。



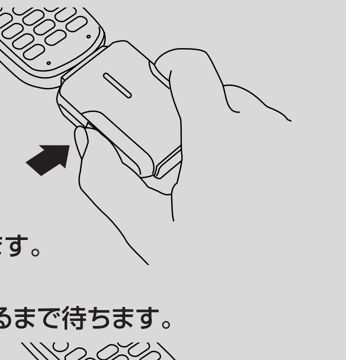
※本書の左のページの「シリアル番号、BDアドレスをメモしよう」で上位6桁、下位6桁がわかります。

❺ 本体を携帯電話に接続します。

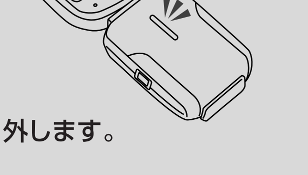


❻ 携帯電話に接続後、通話切替ボタンを10秒以上長押しします。

本体のランプが
［消灯］→［緑点滅］→
［赤点滅］になります。
［赤点滅］になるまで
押し続けます。
赤点滅になったら離します。



❼ ランプが［緑点灯］になるまで待ちます。
（緑点灯になったら
登録完了です。）



❽ 本製品を携帯電話から取り外します。

ワイヤレスアダプターとヘッドセットのペアリング

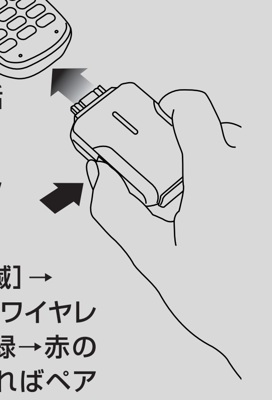
❶ 携帯電話の電源を入れます。

❷ ヘッドセットのボタンをヘッドセットのランプが点滅するまで押し続けます。（約8秒間）

❸ ヘッドセットのランプが点滅したらボタンより手を離します。

❹ 通話切替ボタンを押しながらワイヤレスアダプターを携帯電話に接続します。

❺ 接続後、ワイヤレスアダプターのボタンから手を離します。



❻ ヘッドセットのランプが［点滅］→［5秒に3回の点滅］になり、ワイヤレスアダプターのランプが［緑→赤の交互点滅］から緑点灯になればペアリング完了です。

※上記終了後、携帯電話に入力した情報は削除してもかまいません。

裏へ続く ➡

困ったときには

ワイヤレスアダプターの電源が入らない

原因 携帯電話の電源が入っていない。

対処 携帯電話の電源を入れてください。

原因 携帯電話に正しく接続されていない。

対処 ワイヤレスアダプターをもう一度携帯電話の外部端子に奥までしっかりと差し込んでください。

原因 携帯電話から取り外した後、3秒以上空けてから接続していない。

対処 携帯電話からワイヤレスアダプターを取り外ししてもすぐに電源は切れません。約3秒間は電源断処理を行っていますので、取り外し後の再差し込みは3秒以上空けてから行ってください。

原因 充電が十分になされていない。

対処 電池残量の低下が考えられます。LEDが赤色点滅になったら早めに充電を行ってください。また、充電時にLEDが赤色点灯にならない場合は、電池切れ・電池故障の可能性があります。

原因 携帯電話と接続する外部端子が汚れている。

対処 本製品本体もしくは携帯電話の外部端子が汚れている可能性があります。柔らかい布で乾拭してください。

電話がかけられない、電話がかかってこない

原因 ペアリングできていない。

対処 ペアリングを行ってください。

原因 電池の残量が少なくなっている。

対処 充電をしてから、再度お試しください。

原因 圏外、サービスエリア外、弱電界にいる。

対処 携帯電話の圏外、サービスエリア外、弱電界の場合はサービスエリア内に入ってから再度お試しください。

原因 電話番号が間違っている。(電話をかける場合のみ)

対処 本製品は、携帯電話を用いていますので市外局番からの電話番号が必要です。

通話が突然切れた

原因 本製品のサイド操作ボタン(SET)を押している。

対処 ハンズフリー通話中に本製品のサイド操作ボタン(SET)を押すと携帯電話へ音声が切り替わります。

原因 圏外、サービスエリア外、弱電界にいる。

対処 携帯電話の圏外、サービスエリア外、弱電界の場合はサービスエリア内に入ってから再度お試しください。

原因 電池の残量が少なくなっている。

対処 充電をしてから、再度お試しください。

勝手に着信してしまいハンズフリー通話できない

原因 携帯電話の自動着信の項目がONになっている。

対処 自動着信の項目をOFFにしてください。

ワイヤレスヘッドセットの情報記憶ができない

原因 F251i、F504i、F504iS、F661i、F671i、F671iS、F672iに「メモリ0番」がなく設定ができない。

対処 「メモリ0番」は「短縮0番」と読み替えて設定を行ってください。

原因 携帯電話のアドレス0番に登録しているワイヤレスヘッドセットの[BD_ADDR]と[PASS_KEY]の値が間違っている。

対処 ワイヤレスヘッドセットの[BD_ADDR]と[PASS_KEY]を確認して正しい値を入力してください。
[BD_ADDR]は半角で入力する必要があります。

原因 暗証番号は9999に一時的に変更していない。

対処 暗証番号は「9999」に一時的に変更してください。

原因 メモリ0番にワイヤレスヘッドセット情報を設定していない。

対処 メモリ0番に設定してください。

原因 BD_ADDR、PASS-KEYの入力情報が正しくない。

対処 全角英数字ではなく、半角英数字で入力してください。
またBD_ADDRの上位6桁、下位6桁、PASS-KEYの4桁を再確認してください。

原因 携帯電話の電源が入っていない。

対処 携帯電話の電源を入れてください。

原因 サイドボタンを押す時間が短い。

対処 ランプが赤色に点滅するまでサイドボタンを押し続けてください。
赤色に点滅がはじまったら手を放してください。

原因 電池の残量が少なくなっている。

対処 充電を行ってから、再度お試しください。

原因 サイドボタンを押しながら携帯電話に接続した。

対処 サイドボタンを押さずに携帯電話に接続してください。
接続後、ランプが消灯しているのを確認してから、ランプが赤点滅するまで押し続けます。(赤点滅が始まったら離してください。)

ワイヤレスヘッドセットとペア登録ができない

原因 携帯電話に登録されたワイヤレスヘッドセットの値が間違っている。

対処 ワイヤレスヘッドセットの[BD_ADDR]と[PASS_KEY]を確認して正しい値を入力して再度登録作業を行ってください。

原因 サイドボタンを押しながら携帯電話に差し込んでいない。

対処 携帯電話にサイドボタンを押しながら本体を差し込んでください。

原因 ワイヤレスヘッドセットのBluetooth電話登録を先に実行していない。

対処 ワイヤレスヘッドセットをペア登録待ち受け状態にしてから、
携帯電話に本製品を接続してください。

着信時に会話ができない

原因 一部の携帯電話では、メールの送受信時にハンズフリーを解除するため。

対処 通話開始後にワイヤレスアダプターのサイドボタンを押すかメール送受信後にワイヤレスアダプターを取り付け直してください。

仕 様

■ワイヤレスアダプター部

項 目	仕 様
通信方式	FH-SS (周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
通信距離	約10m
送信出力	最大 +4dBm(Power Class 2)
受信感度	最大 −70dBm
変調方式	GFSK
電 源	内蔵Li-ionバッテリーを使用 (充電専用ACアダプター添付)
消費電流	65mA(通話時平均)
連続通信時間	約3時間
連続待受時間(LED点灯、運用モード)	約10時間
充電時間	約2時間
外形寸法	41.0(W)×16.4(D)×58.0(H)mm
質 量	約30g
適合規格	Bluetooth® Specification Version 1,1 TELEC、JATE
対応プロファイル	GAP SDAP HFP(CCAP対応) OPP DUN
コネクタ形状	PDC用16芯

■ヘッドセット部

項 目	仕 様
通信方式	FH-SS (周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
通信距離	約10m
送信出力	最大 +3dBm(Power Class 2)
受信感度	最大 −78dBm
変調方式	GFSK
電 源	内蔵Li-ionバッテリーを使用 (充電専用ACアダプター添付)
消費電流	20mA(通話時平均)
連続通信時間	約4時間
連続待受時間	約110時間
充電時間	3時間
外形寸法	26.8(W)×26.1(D)×58.1(H)mm
質 量	約14g
適合規格	Bluetooth Specification Version 1,1 TELEC、JATE
対応プロファイル	GAP、SDAP、HFP

本製品のお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず「本書」「セットアップガイド」「オンラインマニュアル」で、設定などをご確認ください。

② 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

製品Q&A、Newsなど **www.iodata.jp/support/**

③ それでも解決できない場合は下記にお問い合わせください。

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**
※受付時間 9:30〜19:00 月〜金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用の電話機の型番及び事業者
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
(画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシールに記載されています。)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

■下の内容を書いたもの
- ■返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]
- ■日中にご連絡できるお電話番号
- ■ご使用環境
- ■故障状況(どうなったか)

●修理品を梱包してください

■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

■絵記号の意味

△	この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	<例> 「発火注意」を表す絵表示
⊘	この記号は禁止の行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	<例> 「分解禁止」を表す絵表示
●	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	<例> 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危険

禁止
水・海水・醤油などで濡らさない
電池に組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止
ストーブなどの熱源のそばに放置しない
発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止
火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。

厳守
電池は当社指定の充電器を使用するか、当社指定の充電条件を守る
その他の充電条件(指定以外の温度、指定以外の高い電圧/大きな電流、または改造した充電器など)で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因となります。

禁止
充電端子やその他接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください
感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

⚠ 警告

厳守
充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止する
内蔵されている電池が発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守
電池が漏液したり異臭がする時には直ちに火気より遠ざける
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。

厳守
電池が漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
放置すると液により、目に障害を与える原因となります。

厳守
電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、こすらずに水道水などのきれいな水で洗い流す
皮膚がかぶれたりする原因となります。

禁止
火の中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

厳守
本製品を使用する場合は、ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用の接続機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

分解禁止
本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く
煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください
電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水濡れ禁止
本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください
お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

禁止
故障や異常のまま、通電しないでください
本製品に故障や異常がある場合は、使わないでください。
また、電源やACアダプタがある場合は、通電をしないでください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止
本製品を病院内で使用しないでください
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

禁止
本製品を飛行機の中で使用しないでください
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

禁止
日本国外で使用できません

厳守
本製品は乳幼児の手の届くところに置かないでください
不用意な取り扱いは危険を伴います。

厳守
電子レンジや高圧容器に入れない
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。

発火注意
本製品の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、本製品を使用しないでください
そのまま使用すると内蔵されている電池が発熱、破損、発火する原因となります。

厳守 感電注意 発火注意
ACアダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください
- ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因になることがあります。
- 電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因になります。
- 電源コードがACコンセントに接続されているときには、濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。
- 保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)
- 本製品を長時間使用しない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。
ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
- 火気のそばや、炎天下駐車の車の中などでの充電はしないでください。
高温になると、危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が損傷し、異常な電流や電圧で充電され、発熱、破損、発火の原因となります。
- ACアダプタは本製品以外の他の用途には使用しないでください。
- コンセントや配線器具の定格を越える使い方はしないでください。
たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。

⚠ 注意

厳守
電池の充電方法については、本書をよくお読みください

禁止
直射日光の当たる場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しない
電池を漏液させる原因になるおそれがあります。

禁止
保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しない
危険防止のための保護機構が組み込まれています。保護機構がこわれ発熱、破裂、発火の原因になるおそれがあります。

厳守
常温(20℃±5℃)で使用する
低温下では使用時間が短くなります。低温下の使用では、電池の性能を十分発揮できません。できるだけ常温(20℃±5℃)でご使用ください。

禁止
電池の充電温度範囲は次の通りです。この温度範囲以外での充電はしない
電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。 充電:5℃〜35℃

厳守
充放電する
長期間ご使用にならなかった電池は十分に充電されないことがあります。電池は長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充放電を行ってください。

禁止
本製品は以下のような場所(環境)で保管や使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 強い磁力・電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機等)
- 水気の多い場所(台所、浴室など)
- 傾いた場所
- 本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
(保管は問題ありません)
- 腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど)
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所(保管は問題ありません)

禁止
本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください
- 落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止
本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください
静電気が流れ、部品が破壊される恐れがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れ、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品を廃棄する場合の取り扱いについて

本製品には内蔵電池としてリチウムイオン充電池を使用しています。
リチウムイオン充電池はリサイクル可能な資源です。
本製品を廃棄する場合は分解せず、弊社修理センターにお問い合わせください。

【お問い合せ先】 株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター
TEL.076-260-3617

分解禁止
本製品は絶対に分解しないでください
感電などの危険があるため、絶対に分解しないでください。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の注意をご確認ください。

■以下の近くでは使用しないでください
- 電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局
(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- IEEE802.11g/b無線LAN機器

上記の機器などは、Bluetooth®と同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

■テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください

テレビ/ラジオなどは、Bluetooth®とは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器をBluetooth 製品に近づけた場合は、本製品を含むBluetooth 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■良好な通信のために
- 他の機器とは、見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
- 電気製品(AV機器、OA機器など)から2m以上離して通信してください。(特に電子レンジは通信に影響を受けやすいので3m以上離してください。)正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
- 無線LAN機器との電波障害について……IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth 機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、お互いを近くで使用すると、電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

■使用しないときは、
本製品の電源を切っておくことをおすすめします

他のBluetooth® 機器からの接続要求に応答するために常に電力を消費します。

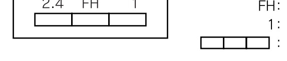
■修理について
- 本製品の修理は弊社修理係にご依頼ください。改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。
- 長時間(6時間以上)の充電はしない
- 電池には寿命があります。
十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきた時は、電池の寿命です。使用状態によって異なりますが、約300回繰り返し充電ができます。なお、電池の寿命は使用状態などによっても異なります。
- 電池は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- 当社では電池の交換は行っておりません。
充電してもご使用いただけない場合や連続通話時間が短くなった場合には、寿命と考えられますので、新しい製品をご購入ください。なお、電池寿命か故障かどうか不明な場合には、当社サポートセンターまでご相談ください。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

【連絡先】サポートセンター 【電話】金沢 076-260-3644
東京 03-3254-1144



2.4: 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す
FH: 変調方式を表す
1: 想定される与干渉距離を表す(<=10m)
▭▭▭ : 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2004.08.17 発行